

平成25年度 第2回信州新町公民館運営審議会 開催概要

- | | | | |
|--------|-----------------------------|--------------------|-----------------|
| 1 日 | 時 | 平成26年3月12日(水曜日) | 午後3時から午後4時30分まで |
| 2 場 | 所 | 信州新町公民館 3階 | 306教室 |
| 3 出席者 | 委員 | 6名 | 事務局 3名 |
| | | (委員8名中6名出席で会議成立) | |
| 4 あいさつ | | 北原源充実審議会長及び武田武公民館長 | |
| 5 審議事項 | (1)平成25年度信州新町公民館事業状況について | | —事務局から説明— |
| | (2)平成26年度信州新町公民館事業計画(案)について | | —事務局から説明— |
| 6 その他 | (1)公民館をめぐる状況 | | —事務局から説明— |
| | (2)懸案事項 | | —事務局から説明— |
| | (3)その他 | | |

審議概要

- 子ども向け講座(わくわくチャレンジ教室)の参加状況はどうか。
—子どもの減少に加えて忙しくなっている。子どもの時間の使い方や友だちのつながりが昔とはまったく違う。保護者が見つからないと参加できない。育成会の行事も成り立たない。親以外の大人と付き合う機会が少ない。
 - いきいきふるさと塾の高齢者も減っているのか。ふるさと塾は何歳以上とかあるのか。
—昔出ていた人がそのまま高齢化し、後に続く人がない状況だ。何歳以上と年齢制限できる状況ではない。午後の部は引き続きグループ学習を行っている。独立グループ化は難しい。
 - ストレッチポールは参加者が女性ばかりなのはなぜか。保健の関係もそうだが女衆の出るところには男性は出たがらない傾向がある。男性も聞かないともったいない。
—男性にも大いに出てきてほしい。昔は女性が父ちゃんに車に乗せてもらいいっしょに聞くこともあったが、今女性は自分で行動できる。
 - 平成26年度事業には郷土資料管理と言うのがある。これは信州新町時代の民俗資料がある日原収蔵庫や信級収蔵庫も含むのか。
—現在それらは市立博物館が管理している。昨年も養蚕資料展を開催し、博物館から資料を借りた。資料が活用されないのはもったいない。民俗資料は小学校などの空き教室において子どもたちが見たり触れたりできれば良いと考えている。考古資料は支所ホールへ展示予定だ。
 - 郷土史学級は新規講座だが、ねらいは何か。
—信州新町史の骨格を学ぶ。町史を伝承していただける人を養成したいという思いもある。
 - 26年度には地域間交流はないのか。ふるさと魅力発見は今年もやるのか。
—古里との交流は古里の住自協と公民館が主導したもの。ふるさと魅力発見は、主に6公民館が連携して行う成人学校で有料だ。今年には戸隠別院を回る。戦国時代に戸隠神社一体が避難した遺構だ。味力発見は26年度はお休みする。
-
- 公民館をめぐる状況については、指定管理、講座等の有料化の動き、またピアノの寄付の話が進んでいることなどを事務局で説明。